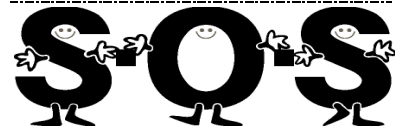


◆通所介護ナイス・デイ◆訪問介護ナイス・ケア◆小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介つしま紹介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひら



vol. 165通信
H26年5月7日発行

発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036
代表TEL：(0567) 26-3921
FAX：(0567) 26-3922
ホームページ http://www.s-o-s.co.jp

利用状況案内板 (☆募集中 ★満員)

☆ナイス・ケア

☆ナイス・デイ (定員10名/日)

日	月	火	水	木	金	土
6	7	9	5	5	8	6

☆ナイス・ホーム(登録者17名/定員21名)

★愛宕の家(入居者17名/定員17名)

☆つしま紹介所 ☆ナイス・キッズ

☆打太鼓・4月生(新メンバー)大募集♪

～上記を参考にご利用下さい～

《5月予定》

- 6日 天王川公園藤の花見 打太鼓演奏
- 10日 外食DAY
- 20日 9:30-16:00 実地指導 & 情報公表調査(愛知県) 時間帯未定総合避難訓練 13:00-15:00 運営推進会議
- 24日 誕生日会
- 《不定期行事》 その日の天気や意欲等で状況判断して、外出先一覧を参考に社会生活参加します

満足に近づくために/ナイス・ケア

Mさんのお宅では、洗濯や掃除・買物・調理などの援助をさせて頂いている。会話や買物の内容から食通だったことが伺える。有名な店も色々教えて頂いた。旬のものは外さずリクエストがあり、味付けにもこだわりがある。しかし、病気のため、食事に制限があるので、満足して頂く事は難しいが、少しずつ「美味しかったわ」と聞かせて頂けるようになった。先日、「良い筍を頂いたの」と、筍ご飯の作り方を聞かれた。そして、調理のリクエストがあると聞き、その日は話だけで終わった。次の訪問時、「筍ご飯を作ったのよ。美味しかったわ。」と満足な笑顔。「すごい自分で調理されたんだ！やっぱり作ってもらうより、自分の味が一番ですね。」その笑顔を見ながらそう思った。これからも、食へのこだわりが衰える事無く、体調の良い時には、自ら調理できる意欲、体力を維持してもらえるように、そして、何度も「美味しかったわ」と笑顔を見せてもらえる様に関わらせてもらいたい。(K/N)

介護と看護・終末期を迎えたSさんの記録/看護師

愛宕の家での緩和治療を希望。その気持ちが単純に看護師として嬉しいと同時に同じくらい怖かった。今後の症状を観察しながら愛宕の家での限界を判断し医療機関(緩和病棟)に苦痛なく繋げていく必要があった。Sさんにも“愛宕の家で最後まで”という気持ちはなく、私自身も難しいと予測していた。そんなことはお構いなしに日々の生活は始まる。胸水が溜まった肺。骨折したままの左脚。切断した右脚。呼吸困難の自覚はなく酸素濃度の大きな低下もなかった。麻薬でのコントロールは良好であったが骨折後の痛みは強かった。日常生活の中で、食事や排泄・清潔は必須。何をどうすれば穏やかな日常生活が送れるのか・・・、日々、本人と話し合いを行いながら介護の実践が必要だった。食事を全介助している訪問介護担当者。そして幸せそうに食べているSさん。私は、「あれ？手は動くでしょ。ちゃんと座れば食べられるよね～」と、痛みのない座位の取り方、クッションの使い方を伝える。ベッドから車いすへ移乗する時「自分で移れる？」と声掛けし、必死に自分でやろうとしているSさんを見守っている訪問介護担当者。私は、「手伝うから大丈夫よ。」と、本人の苦痛が無いように全介助を勧めた。何のために介助するのか、なぜ今介助が必要なのか、全てにおいて根拠があると思っている。しかし、実践では“自分で出来そう”や“無理そう”という根拠のない介護場面も多々あった。一番問題になったのが入浴時の介助方法についてだった。訪問介護担当者は『骨折した脚や状態を考えると2人体制での入浴介助が安全だと思う。』との意向を主張。私は『一人で安全に入浴介助してほしい。』と主張した。(続く)(M/T)

一つ屋根の下で/愛宕の家

宅老所を改め、住宅型老人ホーム愛宕の家として誕生して7年位になる。当初より、宿直業務に携わっている。最初は6~7名くらいの入居者さんだったが、現在は17名。私は、子供の頃から父母弟の4人家族として平凡に育ってきた。だから、おじいちゃんやおばあちゃんがいるという大家族にずーっと憧れていた。愛宕の家の夕方～翌朝までの時間帯でも、毎日色々な事が起こる。それを、それぞれの年代のスタッフ達が話合う。時には入居者さんのナイスアドバイスもある。さすがじーちゃん、ばーちゃん。そう思うと、入居者と職員...ではない、何か違う関係性が生まれてきているように感じる時も多々ある。『大家族ってこういうものかなあ...』なんて思う。今こうして同じ屋根の下で生活を共にする事は不思議な縁だ。この縁を大事に、これからも元気に「おはよう」と「おやすみ」の会話を交わしたい。(E/T)



小学1~5年生KIDが4コマ漫画を描き、その中で選りすぐりの一枚を大人が選び、掲載します



来年もみんなで行こう/ナイス・デイ

今年も花の季節がやってきました。愛西市の桜に始まり、弥富の芝桜、美和のチューリップ、天王川の藤、蟹江の菖蒲、そして稲沢のあじさい。今や定番の春のお花見コース。この時期はスタッフも利用者もちょっとした遠足気分。しかし、最近車いすの方がとても増え、スタッフは決して楽しいばかりの外出とはいかない。でも、利用者さんの「わ～綺麗♪」「良かったね～」「また連れてきてね。」の感想を聞くと、やっぱり何度も足を運んでしまう。その時、その場での喜びと笑顔は本物。「来年も変わらずこのメンバーで来られますように...」と願いを込めて、今日もシャッターを押して帰ってきた。(M/O)



チラリ目線/ナイス・キッズ

いち職員として、キッズの成長をチラリと横目でみながら7年の年月が過ぎた。よその子供と比べるととびっきりのワンパクぶり...。言い出したら聞かない。出したら出しっ放し。靴やスリッパは何度言っても並べられない。数え出したらきりがなく、ハァとため息が出る事が多々...であった。しかし、手前みそ(?)か、これだけは負けないと感じている。小さな頃から大勢のお年寄りと同じ空気を吸っているせいか、優しい。おじいちゃんおばあちゃん想いで常に気を配ってくれる。わんぱくで個性的な面々だが、そんなとびっきり気持ちの優しいキッズ達。将来が楽しみである。(M/O)



まずは第一歩/ナイス・ホーム

4月に新しく登録されたOさん。以前はデイサービスを利用してみえたが、冬頃よりデイサービスのお休みが続いた。何故？体調変化？冬の寒さ？お迎えの時間？いろいろな原因をその時関わっていた皆さんで考えられ、対策が練られた。結果、①お迎えの時間を生活リズムに合わせて対応できる事。②訪問と組み合わしながら出掛ける準備(心も荷物も)が出来る事。③急な泊まりも馴染んだ環境で出来る事。などの事由で小規模への移行となった。利用から約1ヵ月。お迎えの時間や訪問時の対応など、試行錯誤しながらではあるが、何とか定期的に通いを利用して貰えている。その時の心身状態で、予定していたお迎えの訪問時間が大幅に延長になる事もあったが...。しかし、そこは小規模。臨機応変に対応。じっくりと話を聞き、出掛ける気分になってもらえるよう関わった。スタッフの顔ぶれには馴染んでもらえた。でも、通いの場への馴染みは薄い。まだまだ課題はあるものの、まずは第一歩が踏み出せたと思う。(Y/O)

変形性膝関節症予防の運動/理学療法士

前回、腰痛予防の運動について書きましたが、腰の次に痛みや不調が起きやすい膝痛予防の運動を紹介します。膝の痛みも放置してしまうと、徐々に進行し、変形性膝関節症を引き起こします。何事も始めが肝心。ちょっと気になる時に、しっかりと運動やストレッチを行いましょう。変形性膝関節症では、膝の伸展筋力を強化することで痛みを和らげることが出来ます。膝の伸展筋とは、大腿の前面の筋肉、大腿四頭筋です。この筋肉をしっかり鍛えてあげましょう。そして、徐々に膝が曲がったまま伸びなくなってくるので、膝を伸ばすストレッチも大切です。何より一番大事なのは、体重コントロール。体重増加は、膝に負担をかけます。時にはダイエットも必要ですよ。(U/I)

編集後記

先月、職員全体会に向けて職員投票がありました。『〇〇さんのここを見習いたい。』『〇〇さんの△△は反面教師にしたい...』などアンケート内容。自分はどんな風に見えるのか？感じ取られているのか？リアルで怖い調査です...。でも、普段の私=利用者さんへの対応に繋がるって事。そのことをしっかり受けとめなくちゃと思いました。自己研鑽する良い機会を怖がらず、糧に。「でも...怖かったなあ」(Y/O)